

メンタル・プロファイリング

PERSONALITY

and 参 考 資 料

CHARACTERES

PROFILING

SYSTEM™



「成果脳」をご存知ですか？

脳は、私たちの生命維持と成長を担う、最も重要な臓器の一つです。

加えて、脳は、思考や感情といった人格や心理を構成する源でもあり、私たちの日々の行動様式を制御し、人生のあらゆる結果に影響を与える高度で緻密なソフトウェア群の集合体（ネットワーク）でもあります。

脳には、生命維持に深く関与する自律神経を中心とするネットワークをはじめ、言語や文化、民族的習慣等、社会性やアイデンティティーに関わる神経系などと同様、近年の脳科学や神経生理学の進歩に共いない、脳には、望みや欲する成果の成否を左右する、いわゆる、**成果に深く関与するネットワーク**が存在することが明らかになりつつあります。

これらのネットワーク（神経系）は、俗に「**成果脳**」または、「成功脳」と呼ばれており、人が望むような成果を創り出せるか否かは、成果脳の活用が深く関わっている事が解明されつつあります。

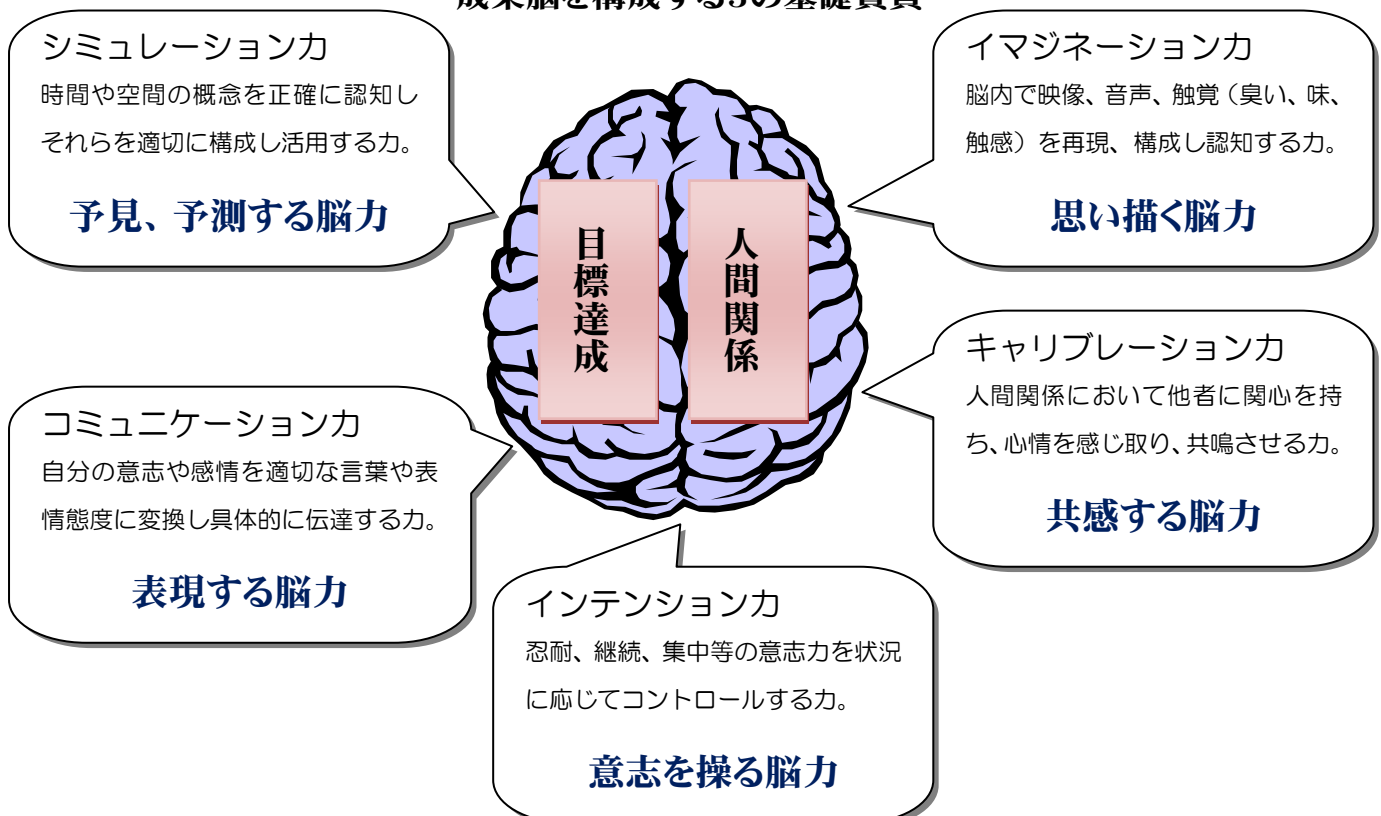
成果脳を構成する「脳力」とは？

より良い成果を創り出すためには、最終的には脳の総合力を駆使し、全身のあらゆる機能を活用する必要があります。しかし、その膨大で複雑なオペレーションを制御する中枢は、成果脳です。

取分け大脳に存する5つの「脳力」が、その中心的役割を果たします。

その5つの脳力とは、イマジネーション力、シミュレーション力、キャリブレーション力、コミュニケーション力、インテンション力の5つです。人が、人生で求める大多数の成果は、これら5つの脳力の活用により決定すると言っても過言ではありません。この5つの脳力は、成果を創り出すための基礎となるため、成果脳を構成する「**基礎資質**」と呼ばれます。

成果脳を構成する5の基礎資質



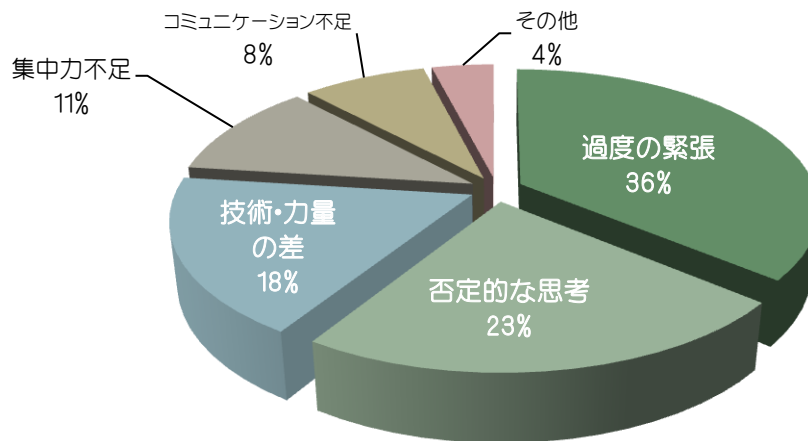
成果脳とメンタル・プロファイリングの関係

弊社では、心理学、医療、脳科学などさまざまな分野で成果脳の仕組みの解明が進む中、1993年より成果脳の有効活用に寄与するメンタル・プロファイリング・システムの開発を開始しました。

当時、最も成果脳の解明と実践的な活用が進んでいたアメリカのスポーツ界の状況を参考に、そこで採用されているメンタル・プロファイリングやトレーニングの事例をベースに、成果脳の活用を前提とし、且つ、アスリートのみならず、より幅広い分野の人々に役立つ分析方法の構築と関連するトレーニングの仕組み作りに取り組んでまいりました。

過去20年間に、主にアメリカで蓄積された膨大なフィールド調査のデータの検証と専門家たちのアドバイスを得、あらゆる分野の人々に有効なメンタル・プロファイリング・システムとして、集約されたものが現在の「PCPS：Personality and Character Profiling System」です。

スポーツ選手の主な敗因



勝敗の78%は、心理的要因で決まる

参考データ（2006年GFC調査より）

メンタル・プロファイリングの目的

PCPSは、成果形成に心理（思考や感情）が関与するプロセスを徹底的に研究し、経営者や社会のリーダー、ビジネスマンや、教育関係者、子育て中の父親・母親、受験に挑戦する学生まで、目標達成やより良い人間関係の実現を目指す、幅広い層の皆様の要望に対応したメンタル・プロファイリング・システムです。

成果実現のために、自分自身のメンタル・コントロールの必要性を実感し、具体的な成長ポイントを知りたいと欲する方々に、わかり易くまた、使いやすいものとなるように工夫されています。

言語的な説明は、要点のみに留め、グラフやチャートを用いて、視覚的、直感的に、現状や可能性、強化ポイントなどが把握出来るよう工夫されています。

PCPSは、成果実現に最も重要な役割を担う「成果脳」の現在の状態を的確に把握していただき、より効果的に活用していただくための有益な情報を提供すると共に、お一人お一人の個性の活用に配慮した最適な行動を提案する事を解析の目的としています。

成果脳の「状態」と「特性」を解析

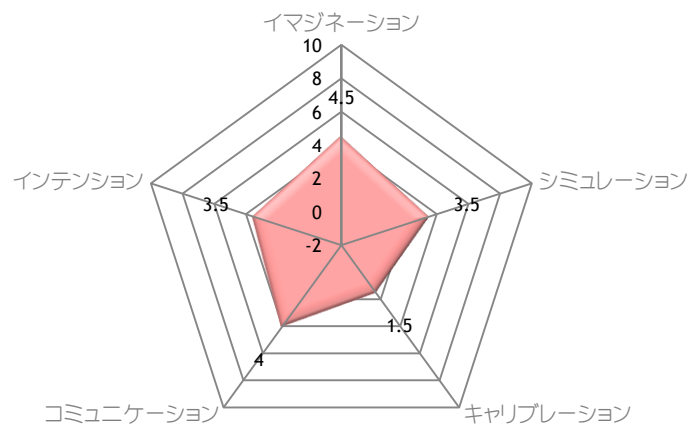
「状態」とは

PCPS は、成果脳の「状態（コンディション）」を解析します。

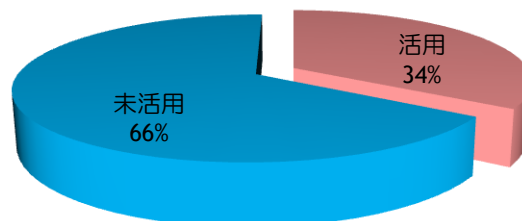
「状態」とは、その人の持つ価値観や信念によって創り出される、その人独自の「現実認識」を意味します。特に PCPS では、成果を創り出す「基礎資質」の活用に対する、あなたの認識状態（活用レベル）について解析します。

成果脳を構成する5の基礎資質について、あなたが潜在意識のレベルで、どのような認識を持っているかは、即ち、成果脳の活用に直結する課題であるため、PCPS では、被験者の潜在意識の中にある成果脳に対する認識状態（コンディション）の解析を通じて、現在の活用状況の推定を行います。

解析の結果、成果脳の状態を、①活性レベル ②活用バランス ③活用割合 の3つの視点で解析します。



基礎資質の状態解析の例(サンプル)



総量に対する活性率の推計(サンプル)

「特性」とは

PCPSの2つ目の特徴は、「特性（オリジナリティー）」を解析する事です。

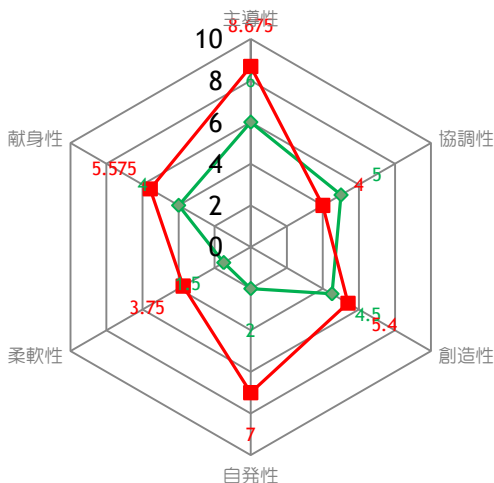
人は、それぞれ、自分らしさと言う個人特有の「特性（個性）」を持っています。

成果脳を活用するもう一つの重要な柱は、基礎資質を個人の特性と調和した形で活用する事です。

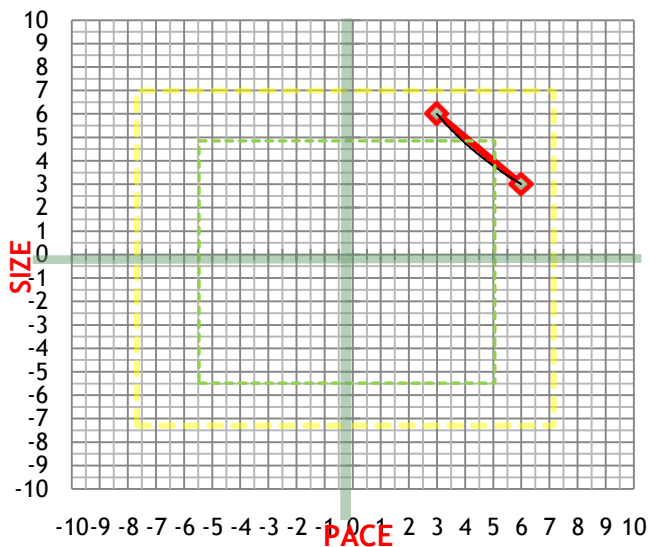
そのためには、自分が、自分自身に求めているイメージを正確に理解し、自己イメージと実際の行動様式を可能な限り一致させる事が重要であり、これにより強烈に成果脳を活性化させる事が可能となります。

アスリートがゲーム中に感じる「ゾーン体験（100%以上自信に満ちた心理状態）」「セカンド・ウィンド（それまで強く感じていた苦痛や限界感が、ある時点を境にほとんど感じられなくなる現象）」を創り出す条件の一つが、この潜在的自己イメージと実際の行動が一致する事（インテグリティー）によって引き起こされていると言われています。

PCPSは、潜在意識下の自己イメージを解析すると同時に、現在の実際の行動の傾向を併せて解析する事で、個人の特性をより効果的に発揮するための行動の重点項目や変更点、変革すべき行動様式等を明確に示し、望む成果を実現するためのより良い行動に関するアドバイスを致します。



特性と行動の比較(サンプル)



ペースとサイズの推定(サンプル)

ご依頼から解析、コンサルティングまでの流れ

解析のご依頼いただく場合は、メールまたはファックスにて必要事項と共に弊社または、弊社エージェントまでご連絡ください。 その後の手順は、以下に示す通りです。

手順1. 弊社及び、エージェントに解析依頼をお申し付けください。

必要情報：①お名前（フルネーム・ふりがな要）

②ご住所（PCPS 質問票を確実に受け取れる住所）

③お電話番号（携帯可）

④メールアドレス（携帯不可）または、ファックス番号

手順2. 弊社より、指定ご住所宛て

「PCPS 質問票」をお送り(お届け)致します。 ⇨

回答にあたってのお願い
 質問は、セクションAからセクションF（各セクション、各10問：合計60問）で構成されています。
 回答にあたっては、各質問の内容を読み、その内容について自分に「当てはまる」「当てはまる程度ではない」「当てはまらない」といふいずれかを必ず選択します。選択にあたっては、熟慮して選択するよりも、直感的な選択をおこなってください。
 返送済の質問票は、不正確な解析結果につながる可能性があります。未返送の質問票をお願い致します。
 選択した質問の該当する欄に「X」印を記入し、さらに、各セクションの回答合計欄に、各回答の合計数を算用数字で記入してください。
 必ず、40問すべての質問に回答して下さい。※1項目でも回答欄がないと解析ができませんのでご注意ください。
 2ページ目にもお名前をご記入いただく欄があります。2ページ目にもお名前を必ずご記入ください。

セクションA	当てはまる	当てはまる程度ではない	当てはまらない
1 よく覚えてから行動するより、とにかくやってみる方が、			
2 やるからには、真実の裏面が知らないと損得しない。			
3 知識やノウハウといった専門的知識は、他社と比べて自分の強みになりやすい。			
4 自分自身の考えや感情を、他人に押しつけてしまったりと責められることが多い。			
5 人前では得意なふりをする一方で、プライベートでは自信がない。			
6 正しい情報や正しい情報は、とても価値を認めます。			
7 一日の終わりに思ったことは、やってみないと気がすまない。			
8 理由がどうであれ、結果を肯定されることには価値を感じています。			
9 自分と他人の間に差を感じたり、他者の優位性を認めるのは、嫌いです。			
10 他者の、言葉でいくと「悪口」は、悪口だと思えます。			
合 計			

手順3. 質問票にご回答いただき、

下記指定番号までファックス頂くか、
返送先住所まで返送をお願いします。

※郵送に要する費用はお客様のご負担となります。

セクションB	当てはまる	当てはまる程度ではない	当てはまらない
1 知りたがるより、やらなければ知らない事から始まる。			
2 周りの人の反応を気にしても、自分の意見や感情を押し通すことは少ない。			
3 人から頼られたりした時、責任、その他の期待には応えたいと思わない。			
4 社会や組織のルールは、守るべきだ。でも、いつかそれを変える必要がある。			
5 自分だけが正義だ。他の人が賛成する状況には、必ず、意見を述べたい。			
6 正しい、損得が関係なく、ある程度の価値は知覚するものだ。			
7 自分自身に正しいと思える事でも、争って争い負くと感じる。			
8 大抵の事柄には、長くなって十分改善策を考案したいと思える。			
9 自分の責任を押し付けられるより、他者と認められる方が、私には大切だ。			
10 自分が、人に迷惑をかけていない時は、別に気にしていない。			
合 計			

質問票（イメージ）

手順4. 解析費用を指定の口座までご送金ください。

費用のご入金の確認され次第、解析報告書をご指定の住所までお届け致します。

※お届けに際して、担当者が、ご連絡をさせていただきます。

依頼先

弊社直接の場合

- メール info@globalfc.co.jp
- FAX 029-835-7988
- 返送住所 〒305-0013 つくば市栄 83-10